



No.96

# 「行楽シーズン」

## 窓の市政

4月号の「広報そうさ」が発行される1日の今日、全国民が注目する新元号が発表されます。3年前、天皇自ら生前退位を望まれる発言があり、各界で慎重に検討がなされ、皇室典範特例法により新天皇の即位が5月1日と決定されたからは流行語のように「平成最後の：」と言われておりますが、今日からは「(新元号)最初の：」と語られることが多くなることでしょう。

この1か月は宮内庁を中心に、即位に関する諸行事に向け拍車がかかってゆく訳ですが、我々国民は5月1日が祝日になることにより10連休の過ごし方に

心が集まっているかと思えます。海外・国内旅行、家族サービス、観光、イベントやスポーツ参加など、各家庭で話し合われていることでしょう。二度と経験することがないであろう超大型連休を祝意を持ちながら有意義に活用しようではありませんか。

3月定例市議会も無事終了し、新年度を迎えて決意も新たにしておりますが、この連休中は多くの行事に出席予定ですので連泊や遠出は難しい状況ですが、新緑に向かう好季節の日々を有効に過ごしたいと考えております。

大型連休前の4月の上・中旬においても本市では様々なイベントが開催されます。観光協会主催による「天神山桜まつり」が復活し、4月14日(日)まで開催されます。八日市場

匝瑳市長 太田安規

## 吉崎を歩く 証文松

匝瑳探訪 155

市のホームページには50近い伝説や民話が紹介されていて、その中に「河童の証文松」があります。

昔、吉崎村(今の共興地区吉崎)の「新掘淵」という所にいたずら好きな河童が住んでいました。河童がそばを通る人や馬にひどいことをするので、

近くの宝珠院のお坊さんが捕まえ、山門にしばらくつけ反省させました。河童はこれからいたずらをしていない、と証文を書いて約束を守るため松を植え、村人たちはこれを「河童の証文松」と呼んだと言います。

現在、証文松を見ることはできませんが、枯れ



宝珠院跡

ていたものの2代目の松が昭和50年ごろまでありました。

その後の耕地整理や川の改修工事などで、証文松のあった場所は分りにくくなっています。

1921(大正10)年に出された『匝瑳郡誌』にこの伝説が記載され、地域では古くから語り継がれていたでしょう。

宝珠院は現在、墓地だけになっていますが、長谷(共興地区)如来寺の記録に見られます。

この伝説が生まれた背景は、川を挟んで隣接する吉崎、長谷両村の水争いか、川浚いを巡る問題などが考えられます。

長谷にも隣の野手(野田地区)と関係すると見られる「横川の振り袖橋」の伝説があって、50年ほど前に聞いた覚えがあります。

(市文化財審議会委員)

依知川雅一

問秘書課広報聴班

73・0080

# 文芸コーナー

## 短歌

小泉泰清 推薦

物置の隅よりいでし乳母車  
亡き義父<sup>ちちはは</sup>義母<sup>はは</sup>の面影の顕つ  
親孝行出来ず仕舞と嘆けども  
弟妹育てしこれもどうかかな  
我が摘み妹が作りし露味噌に  
夕餉は旬の春を味わう  
末娘職を得てより三十年<sup>みとせ</sup>すぎ  
今日は晴れて表彰を受ける  
立春を過ぎたる余寒の春告草  
突如の雪にも梅花は動ぜず  
迫り来る新元号の発表を  
静かな中に迎えたし我  
散歩の道空家が四軒並びおり  
庭の草木<sup>とくき</sup>季を忘れず

木下 昌子

伊藤登美枝

大木ヨシ子

川手 芳

高橋百合子

依知川雅一

古谷由美子

川口城司 推薦

あぜ道を散策しつつ「早春賦」  
歌へば老いの歩幅も増せる  
遅咲きの椿にうっすら綿帽子  
濃き紅色が一際目に沁む  
体長の悪しきわがため介護する  
家族あれども心底わびし  
振り向けば悔い多きわが誕生日  
けふパンジーにしはしかがまる  
衣更えの夜のとばりの下りるらし  
月は上弦色あはくして

渡辺 重雄

石田 秀子

小川みさ子

稲葉 雪子

小川 まさ

## 俳句

高安せい子 推薦

消えてゆく雪の速さや潜り門  
臆たけて月日抱きし享保雛  
朝桜やがてしづまる通学路  
容赦なく降り続く雨花馬酔木  
ゴスペルの低き声良し春の葬  
絵手紙のハガキはみ出す雪解川

大川 宣子

椿 和枝

椎名 晴江

岩井 やす

安藤 建子

椎名 貴寿

川口城司 推薦

冬落暉皇居警備の五、六人  
東風吹くな家まで遠い一本道

石田 健

須貝 玉枝

## 川柳

勝又康之 推薦

夜桜を映す水面に花筏  
お花見てパーマの頭花吹雪  
お花見て真面目な上司虎となる  
満開も散りゆく花も風情あり  
飛び入りの客も歓迎花見会  
杖ついて桜記念樹探す喜寿  
新社員花見席とる初仕事

江波戸京子

佐久間美智子

鶴澤 澄子

常世田やす子

林 サダ子

岡田けい子

松野 敏昭

川口城司 推薦

皇居前パパの自転車四人乗り

石田 津

## 図書館だより

図書館ホームページはコチラ  
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



● 休館日…4日(木)・30日(火)・毎週月曜日 ● 祝日開館時間…9時~17時  
☎ 八日市場図書館 ☎ 73-3746 (17時まで)

### 毎週開催しています

八日市場図書館では、毎週土曜日午後2時から、「お話の部屋」で「おはなし会」を開催しています。対象は4歳から小学校3年生くらいまでの児童ですが、保護者も一緒に参加できます。

児童の参加者には、出席カードを配布しており、5回目と10回目には「お楽しみ」があります(カードは八日市場・のさか図書館で共通)。

### 20日は「特別なおはなし会」

子どもの積極的な読書活動を推

進するため、4月23日は「子ども読書の日」と定められています。20日には、特別なおはなし会を開催します。大型絵本やパネルシアターなどで、親子で楽しく過ごしませんか。  
日時…4月20日(土) 14時~14時45分  
場所…八日市場公民館市民ギャラリー ※参加は無料です。

### 4月のおはなし会

★八日市場図書館  
毎週土曜日(20日を除く)14時から約30分間  
★のさか図書館  
第4土曜日10時30分から約30分間

### おすすめの本

#### 『天皇陵古墳を歩く』

今尾文昭/著 朝日新聞出版

奈良・大阪に点在する大型前方後円墳である天皇陵の観察記録です。図版と写真を多く用いて、分かりやすく解説しています。

#### 『旅する天皇 平成30年間の旅の記録と秘話』

竹内正浩/著 小学館

天皇・皇后両陛下の旅は、地球15周半にも及びます。両陛下の旅の全容を、地図や図表、具体的なエピソードなどで紹介しています。